

# 三小だより

新潟市立新津第三小学校

NO. 7

令和4年9月29日(木)

## アンケートのご協力ありがとうございました

学校では、前期の様々な教育活動の集約を行い、保護者の皆様からの評価やご意見をもとに、今後の教育活動について検討を進めていきます。

前期学校評価の集計結果や今後の方向性を、以下の通りまとめましたので、お知らせいたします。

### 1 「子どものことについて」学校評価アンケート集計結果

(肯定的評価の割合：「思う」「やや思う」の合計)

	アンケート項目	割合 (%)	増減 (%)
(1)	学校へ行くのを楽しみにしている。	89.4	△5.3
(2)	自分から進んであいさつしている。	70.2	▼1.5
(3)	丁寧な言葉遣いをしている。	62.1	△1.8
(4)	授業が分かりやすいと言っている(感じている)。	89.8	△6.1
(5)	(学年×10分)の家庭学習に取り組んでいる。	82.5	▼1.1
(6)	決めた時間に就寝や起床をしたり、朝ご飯を食べたりする習慣が身に付いている。	89.4	△4.1
(7)	テレビ等を見たり、ゲームをしたりする時間が適切である。	51.3	△2.8

※増減はR3後期との比較 △増加 ▼減少

この結果から、次の2点に言及できます。

1つ目は、子どもが「学校へ行くのを楽しみにしている」「授業が分かりやすいと言っている」と感じている方が大きく増えている点です。互いを認め合う学級づくりを心がけてきたこと、多くの子どもが理解しやすい授業づくりを実践してきたことが功を奏していると考えられます。学校で過ごす時間のうちの大半が授業です。授業が分かりやすいことは、登校への希望を生み出します。今後とも分かりやすい授業づくりを通して、お子さんが「学校へ行きたい」と思えるよう実践を積み重ねてまいります。

2つ目は、「テレビ・ゲームの時間が適切」と捉えている方は増えているが、約半数に留まっているという点です。タブレットも含めたメディア機器の使用時間に難しさを感じていることが窺えます。GIGAスクール構想及びコロナ禍においては、タブレットの使用スキルは必須ですが、視力の低下を心配する声も届いています。学校では、タブレットの使用目的の確認や声掛けを今後も行っていきます。新しい年度が始まった当初に各家庭で決めた「わが家のマイルール」を再び話題にさせていただけると幸いです。

## 2 「学校のことについて」学校評価アンケート集計結果

(肯定的評価の割合：「思う」「やや思う」の合計)

アンケート項目	割合 (%)	増減 (%)
(1) ホームページ・学校便り・学年便り・学級便り等で、学校の様子を分かりやすく伝えている。	91.0	△1.0
(2) 保護者からの連絡や相談に、丁寧に応じている。	95.9	△3.6
(3) 施設設備など、安全面に配慮している。	89.8	△4.1
(4) 保護者が子供の様子を参観・相談できる機会を設けている。	95.1	△11.7

※増減は R3 後期との比較 △増加 ▼減少

学校に関する項目では、全ての項目で約9割かつ昨年後期よりも増加という高い評価をいただきました。その中でも次の2点について、いただいたご意見への検討を重ねました。

**1つ目は、おたよりのデジタル化についてです。**5月からデジタル化に取り組んでいます。カラー化や直接配信形式となり、良さを実感いただけただというご意見も届いています。一方で、献立表や週予定については、見返す機会もあり、紙で欲しいという声もありました。デジタル化の目的との検討を重ねた結果、次のような形で進めたいと考えています。

- ① 献立表については、児童玄関に紙を置きます。希望するご家庭は、お子さんを通して、紙をもらってください(1家庭1部とさせていただきます)。ただし、デジタル配信も継続します。詳しい設置期間等につきましては、献立表の配信時にお伝えします。
- ② 予定表が含まれる学級だよりについては、メール配信のみにせず、ロイロノート・クラスルーム・紙のいずれかでもお伝えする。(デジタル配信は継続)

デジタル化については、ペーパーレス化や配付漏れの防止、教員の負担軽減等にも寄与している取組です。ご理解ご協力のほど、よろしく申し上げます。

**2つ目は、施設に関してです。**特に、プールについてご意見をいただきました。プールの底面やプールサイドの老朽化については、教育委員会に度々申請しているところです。お子さんへの安全が確保できるよう教職員による点検を今後とも徹底してまいります。

## 3 その他のご意見・ご要望

学校行事を含む教育活動についてのご意見をいただきました。

学校行事を含む教育活動は、教育目標「やさしく かしく たくましく」を達成するための様々な視点から検討し、1年間の流れを構成しています。下記2点について、どのような検討材料を基に構成しているかお知らせします。

### (1) 修学旅行の実施時期や旅行先

今年度、6月30日(木)・7月1日(金)に会津若松方面で実施をしました。これについて、暑さの和らぐ時期や県内での実施を希望するご意見をいただきました。暑さやコロナウイルスの心配を背景にしたご意見であることが大変よく分かります。学校としては、以下の理由から6月下旬の会津若松方面で実施をしました。

1つ目は、教育活動のバランスです。学校行事には、準備が必要となります。1年間を見通すと、「5月スポーツに親しむ日 9月全校遠足 11月作品展 12月若草フェスティバル」が大きな準備が必要です。準備が本格化する期間は、おおよそ1か月です。こうした状況を鑑みると、6月（なるべく中旬～下旬）が最適となります。

2つ目は、会津若松の良さです。修学旅行のねらいの1つに、「友達と協力して課題を解決する力を養う」があります。グループで協力をして、見学先を決め、交通手段や必要経費を調べ、コースを立案します。この活動を可能にするのが、会津若松です。会津若松市街には、周回バスが運行されており、交通手段の確保が容易です。また、狭い範囲に豊富な見学地・体験活動場所が点在しており、子どもたちのコース立案の多様なニーズに応えることができます。

このように、1年間のバランスや修学旅行のねらいを考慮した上で決定しています。今後の状況次第で変更もあり得ますが、来年度も今年度同様の方向で検討しています。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。



## (2) チャレンジロードレースについて

チャレンジロードレース（マラソン大会）の実施を希望するご意見をいただきました。「体力づくりに有効ではないか。」という思いが、ご意見の背景であると考えます。当校では、チャレンジロードレースは、令和2年度より実施しておりません。その理由は、体力を高めるためのアプローチの違いにあります。

実は、「マラソン大会の実施」は、学校教育の基準を定めた「学習指導要領」に記述はありません。マラソン（＝走り続ける運動）について、例えば、高学年で、「体力を高める運動」の1つとして、「5～6分 無理のない速さで走り続ける」と記述されています。マラソン大会の実施によって、過剰な競争が誘発されてしまったり、無理な速さで走ってしまったりすることが想定されます。それにより、マラソン自体への意欲が減退してしまうことが起こり得ます。

上記の理由から、マラソン大会という形ではなく、体育の授業内で、学習指導要領に示された目標が達成できるよう工夫をしていきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。



前期学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。また、たくさんの貴重なご意見をいただきました。それらのご意見を参考に、学校の教育活動を改善していきたいと思っております。今後も新津第三小学校の活動に何卒ご理解とご協力をお願いいたします。




# 体力向上の取組



基礎体力の向上のために、学校では体力テストに取り組んでいます。体力テストは自分の体力レベルを知り、向上に役立てるものです。1・2年生は2種目、3年生以上の学年は8種目実施しています。

- |             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| 1 握力        | 【 筋力：筋肉が力を出す能力 】                      |
| 2 上体起こし     | 【 筋力・筋持久力：筋肉が力を出したり、筋肉が力を出し続けたりする能力 】 |
| 3 長座体前屈     | 【 柔軟性：体を曲げたり伸ばしたりする能力 】               |
| 4 反復横跳び     | 【 敏捷性：体をすばやく動かす能力 】                   |
| 5 20mシャトルラン | 【 全身持久力：全身で運動を続ける能力 】                 |
| 6 50m走      | 【 走力：走る能力 】                           |
| 7 立ち幅跳び     | 【 跳躍力：とぶ能力 】                          |
| 8 ソフトボール投げ  | 【 投力：投げる能力 】                          |



「体力テストって何を見るの？」

※1・2年生は6と8を実施しています。

## 令和4年度 体力テストの結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
1年男子						○		○
2年男子						○		○
3年男子	△	◎	△	△	△	○	○	△
4年男子	△	○	○	○	◎	○	△	○
5年男子	○	○	○	○	◎	○	△	○
6年男子	△	○	◎	△	○	○	△	△
1年女子						○		○
2年女子						○		○
3年女子	○	○	◎	○	△	○	○	○
4年女子	△	○	◎	◎	◎	○	◎	○
5年女子	○	○	△	○	△	○	△	○
6年女子	○	△	△	△	△	○	△	△

新潟県平均値（令和3年度）よりも 上回る（◎） ほぼ同じ（○） 下回る（△）

今年度の体力テストでは、県平均よりも「上回る」または「ほぼ同じ」項目が、昨年度よりも多くなりました（R3 27項目⇒R4 49項目）。

昨年度すべての学年で△だった「反復横跳び」「立ち幅跳び」での改善が見られます。これは、グラウンドでおにごっこやサッカーなどができる環境を整え、遊びを通じて走力がつくように工夫した成果であると考えます。走力の向上から、敏捷性や跳躍力が相乗的に高まったのです。遊びの中で児童の運動能力が向上できるような取組を、今後も継続していきます。

これからも、学校と児童・保護者で連携を深めながら、子どもたちの体力がさらに向上するように努めていきます。子どもの運動に携わるような声掛け等、ご協力よろしくお願ひいたします。